



この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
・市フェイスブック
・二次元バーコード



▲池に張った氷の下にいる小魚などを観察するため、穴を開ける参加者



貸し出されたかんじき

ひな人形を お家に飾ろう

おひな様人形づくり教室

2月3日(土)、郷土資料館で『おひな様人形づくり教室』（市教育委員会主催）を開催しました。

平成4年から続けているこの教室では、郷土資料館のボランティアグループ『SLG』が講師となり、その年ごとに、着物の素材などを変えて、さまざまなひな人形を作っています。

今年は、柄のついた和紙を着物に見立て、折り紙や切り絵などを色紙に貼り付けるひな人形を作成。参加者は、着物の色の組み合わせなど、それぞれが作ったひな人形の違いを楽しみながら、手作りの作品を見せ合っていました。

2/3



▲接着剤で柄和紙と折り紙を貼り付ける参加者

雪に包まれた湿原で 春の息吹を探す

冬のキウシト湿原を探索しよう

2/4

2月4日(日)、『登別景観・みどり遺産』の第1号に指定されたキウシト湿原で、『冬のキウシト湿原を探索しよう』（NPO法人キウシト湿原・登別主催）が行われました。

かんじきをつけた参加者は、冬期間休園している同湿原を、『NPO法人キウシト湿原・登別』のメンバーと共に散策。沼や池の上など、普段立ち入ることができない湿原内を1時間程度歩きながら、エゾシカの足跡や雪を押しつけて芽吹く植物を見つけ、白銀の世界での生命の息吹を感じ取っていました。

まちの特産品が 登別ブランドに認定

平成29年度登別ブランド推奨認定証交付式

2月14日(水)、市役所で『平成29年度登別ブランド推奨認定証交付式』（登別ブランド推進協議会主催）が開催されました。

同協議会は、高品質な地元産の加工食品などのうち、特に優れた商品を『登別ブランド推奨品』として認定しており、毎年、市内の事業者から、こだわりをもった自慢の商品を募集しています。

今回新たに、丸勝水産株式会社の『鬼に金棒』（花咲がにのスープ）『登別地獄味噌ぐり（ほっけ）』と北海道熊笹本舗有限会社の『北海道熊笹そば』の3商品が登別ブランド推奨品として認定されたほか、認定期間の3年を経過する『のむフロマージュ』、『元祖たらこキムチ登別たらこ地獄漬』、『のぼりべつエゾシカ大和煮』、『のぼりべつエゾシカ味噌煮』の4商品についても、引き続き認定されました。

同協議会や市は、認定事業者に対し、販路開拓などへの支援を行うほか、登別ブランド推奨品のPRを通じた登別の魅力発信を行っていきます。



▲オロフレ山溪の湧き水でかにの旨味を引き出す『鬼に金棒』（花咲がにのスープ）



▲登別の火山灰を利用した独自の製法を用いている『登別地獄味噌ぐり（ほっけ）』



▲北海道産の熊笹を使用し、笹のパッケージが印象的な『北海道熊笹そば』

2/14